|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設名称：大阪府立労働センター | 指定管理者：共同事業体エル・プロジェクト | 指定期間：令和６年４月１日～令和11年３月31日 | 所管課：商工労働部雇用推進室労働環境課 |

**令和６年度指定管理運営業務評価票**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価項目 | 評価基準（内容） | 指定管理者の自己評価 |  | 施設所管課の評価 |  | 評価委員会の指摘・提言 |
| 評価 | 評価 |
| Ｓ～Ｃ | Ｓ～Ｃ |
| Ⅰ提案の履行状況に関する項目 | (1)施設の設置目的及び管理運営方針 | 労働組合の健全な発展並びに労働者の教養の向上及び福祉の増進に資する集会、催物等の場を提供するという施設の目的に沿った運営がなされているか  ①事業計画に沿った取組み  ・公平・平等な施設運営  ・利用の増加を図る取組み  ・サービスの向上を図るための取組み        ・施設管理業務を実施する具体的な取組み  ・施設改修工事    ・府の施策・社会貢献等への取組み        ②社会貢献活動、地域との関わり  ・献血活動への協力  ・募金・義援金活動の実施  ・地域が実施するコンサートへの協力  ・エル・おおさか周辺の清掃活動の実施  ・利用料金の一部負担 | ①事業計画に沿った取組み  ・公平・平等な施設運営【実施】  　　より公平・平等な施設利用にするため、Webフォームを  活用した予約方法に変更し、幅広く利用を受け入れる体制  を整えた。  ・利用の増加を図る取組み【実施】  　　施設利用者の増加を図るべく、リスティング広告を実施し、周知範囲を拡大した。また、好評だったランチタイムコンサートからYouTubeを活用したアフタヌーンコンサートへ変更。YouTuberと連携しプチ・エルの広報に繋がった。  （12月時点で1,400回以上再生）。  ・サービスの向上を図るための取組み【実施】  　施設の利用に関して、予約申込をWeb化し、予約受付時  間を拡大した。また、利用料金の支払い方法にキャッシュ  レス決済を導入し、利用者が柔軟に対応できるように環境  整備を実施（令和７年２月中旬実施予定）。  ・施設管理業務を実施する具体的な取組み【実施】  ・施設改修工事【実施】  利用者の快適性・安全性に配慮し、和式トイレの洋式化  や有線LANの設置工事などを実施（総費用：5,808千円）。  ・府の施策・社会貢献等への取組み【実施】  　NPO法人と連携したホームレス支援としてシェアバイク  （HUBchari）を設置。収益は生活困窮者の就労支援等に充て  られる。    ②社会貢献活動、地域との関わり  ・献血活動への協力【実施】  　　本館１階ロビーに実施（11月29日（金））  　　献血協力者：５名  ・募金・義援金活動の実施【実施】  ・地域が実施するコンサートへの協力【実施】  ・エル・おおさか周辺の清掃活動の実施【実施】  　　毎月第３金曜日に実施  ・利用料金の一部負担【実施】  　　利用料金の20％を負担（７件）  事業計画に基づき上記の提案項目について着実に実施、または継続実施に向けた準備を行った。 | Ａ | 施設の管理運営において、ハード・ソフトの両面で、設置目的・管理運営方針に沿って、事業計画に掲げて取組みを実施し、概ね適切な運営がなされている。なお、全体に占める目的利用率が前期間より下がっており、検証が必要である。 | Ａ | ― |
| (2)平等な利用を図るための具体的手法・効果 | 公の施設であることを踏まえ、公平・平等利用が図られているか   1. 平等利用を確保するための基本方針に沿った取組み   ・施設別・目的別に応じた利用受付開始日  ・公平な利用申込み方法    ・Web を活用した予約システムの導入（ R8 まで）  ・Web を活用した予約システムの充実（ R8 以降）  ・施設の空室情報をリアルタイム提供  ・利用申込みに偽りがあることがわかれば是正させる  　・平等利用を担保するスタッフ研修の実施  ・個人情報の取り扱いについての取組み        ②高齢者・障がい者等に対しての利用援助  ・ホームページを音声読み上げソフトで対応  ・大阪聴力障害者協会との連携 手話通訳者の紹介等  ・筆談ボードの利用  ・５台の車いすの常置と点検の実施  ・障がい者支援事業所への夜間利用時の 20 ％援助  ・スタッフ全員の「サービス介助基礎検定」資格取得  ・「みんなのトイレ」（LGBTに配慮したトイレ）設置  ・高齢者・障がい者等対応研修 | ①平等利用を確保するための基本方針に沿った取組み  ・施設別・目的別に応じた利用受付開始日【実施】  　　　会議室、大ホール、プチ・エルの受付開始日  　　　　○目的利用：12か月前  　　　　○目的外利用：10か月前    ・公平な利用申込み方法【実施】  Webフォームを活用した申込制へと変更し、来館優先の月初抽選会を取りやめた。変更により、前月15日から抽選申込を受付け、公平に抽選を実施。  ・Web を活用した予約システムの導入（ R8 まで）【実施】  6月よりWebフォームでの受付開始。  ・Web を活用した予約システムの充実（ R8 以降）【検討開始】  ・施設の空室情報をリアルタイム提供【実施】  　　　ホームページの予約ページにて空室状況の確認が可能。  ・利用申込みに偽りがあることがわかれば是正させる【実施】  ・平等利用を担保するスタッフ研修の実施【実施】  　　　個人情報保護研修、人権研修、マナー研修、管理者のメン  タルヘルス研修を実施し、適切な施設運営に徹した。  ・個人情報の取り扱いについての取組み【実施】  　　　プライバシーマークで作成した個人情報保護マニュアルに沿った運用を実施。  ②高齢者・障がい者等に対しての利用援助  ・ホームページを音声読み上げソフトで対応【実施】  ・大阪聴力障害者協会との連携 手話通訳者の紹介等【実施】  ・筆談ボードの利用【実施】  ・５台の車いすの常置と点検の実施【実施】  ・障がい者支援事業所への夜間利用時の 20 ％援助【実施】  ・スタッフ全員の「サービス介助基礎検定」資格取得【実施】  ・「みんなのトイレ」（LGBTに配慮したトイレ）設置【実施】  　　　職員に対し、LGBTへの理解を深める研修も実施した。  ・高齢者・障がい者等対応研修【実施】 | Ａ | 申込初日の抽選会のWeb化により、多くの人が参加しやすくなり、より公平な利用確保につなげられている。また、高齢者・障がい者等に対する利用援助等により、多様な方々が安心して利用できるように対応している。 | Ａ | Web申込と連携してSNSを活用した申込も可能にすることで、申込手段が増え、多くの人が様々な手段で申込できるようになると思うので、検討されたい。 |
| (3)利用者の増加を図るための具体的手法・効果 | 目標達成に向けた戦略的な取組みが適切に実施されているか   1. 施設の広報や認知度向上、利用者増加に向けて実施した具体策   ・エル・おおさかのロゴを使用した広報・ＰＲ    ・リスティング広告（ Google 広告等）を使用した広報・ＰＲ  ・ホームページ掲載情報の更新  ・「エルちゃん☆通信」による広報  ・コングレが運営する施設へのチラシ配下  ・メールマガジン・ Facebook の活用  ・会議ドットコムへの掲載  ・YouTuber 等と連携したプチ・エルの広報  ・大ホール利用者のための催しカレンダーを活用した広報    ・大ホールに特化したランディングページから申込ページの作成    ・駐車料金値下げの継続  ・新規利用者の開拓と利用者の確保    ・夜間時間帯の利用向上の取組み  ・近隣自治体が利用する際の使用料負担  ・「エルちゃん」を活用した販促グッズの作成  ・利用を見込める企業・団体・学校へリーフレット送付  ・利用増加を図るイベント開催  ・経営戦略会議の開催  ・WEB 会議用備品の貸出、 LAN 回線の提供    ・動画サポートパック  ②ホームページのアクセス数   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | R5  (参考) | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | | 目標 | － | 800,000 |  |  |  |  | | 実績 | 793,742 |  |  |  |  |  |   ③Facebook登録者数   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  | R6.7.8時点  (参考) | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | | 目標 | － | 900 |  |  |  |  | | 実績 | 850 |  |  |  |  |  |   ④公の施設利用率   |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  |  | R5  (参考) | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | | 目標 | 会議室 | 47% | 50% |  |  |  |  | | 大ホール | 46% | 40% |  |  |  |  | | 実績 | 会議室 | 48.8% |  |  |  |  |  | | 大ホール | 36.6%(※) |  |  |  |  |  |   (※)R5.11月～R6.1月の大ホール閉鎖期間除く | ①施設の広報や認知度向上、利用者増加に向けて実施した具体策  ・エル・おおさかのロゴを使用した広報・ＰＲ【実施】  　　　卓上カレンダーを作成及び配布し、利用促進を図った。  　　　　○近隣企業・団体への訪問配布：250団体  　　　　○来館利用団体への配布：1,000部  　　　　○過去に利用実績がある団体への配布：200団体    ・リスティング広告を使用した広報・ＰＲ【１月実施予定】  ・ホームページ掲載情報の更新【実施】  ・「エルちゃん☆通信」による広報【実施】  　　　ホームページに掲載    ・コングレが運営する施設へのチラシ配下【実施】  　　　歴史セミナー関係：京都府文化芸術会館  歴彩館  神戸青少年科学館　など    ・メールマガジン・ Facebook の活用【実施】  ・会議ドットコムへの掲載【実施】  ・YouTuber 等と連携したプチ・エルの広報【実施】  ・大ホール利用者のための催しカレンダーを活用した広報  【実施予定】  Ｒ7年度に作成し活用予定  ・大ホールに特化したランディングページから申込ページの作成【実施】  　　　6万回表示されたうち、1900回のクリックあり。そのうち18人が申込フォームへたどり着く。    ・駐車料金値下げの継続【実施】  　　　周辺の駐車場料金が値下がりするなか、エルおおさかの駐車場料金が割高となっていたため、最大料金を設定し、周辺の駐車場料金と同水準にし、利用を促した。  ・新規利用者の開拓と利用者の確保【実施】  　　　職員によるカレンダー配布営業、既存利用者で最終利用履歴が古い利用者へ送付。その他、エル・シアターと会議室の利用頻度が高い利用者に対し、今年度の利用を電話で働きかけ、自主事業の広報と合わせて施設のパンフレットを送付し、利用を促した。    ・夜間時間帯の利用向上の取組み【実施】  夜間利用割引の直前割引、夜間利用者のメンバーズカードなど  ・近隣自治体が利用する際の使用料負担【実施】  ・「エルちゃん」を活用した販促グッズの作成【実施】  カレンダーを作成し配布した。    ・利用を見込める企業・団体・学校へリーフレット送付  【実施】  ・利用増加を図るイベント（試弾会）開催【12月実施】  　　　スタインウェイピアノを演奏できる機会を増やし、利用機会の増加を図る。  ・経営戦略会議の開催【実施】  ・WEB 会議用備品の貸出、 LAN 回線の提供【実施】  　　　会議室部分はWi-Fi導入しているが、より安定した通信ができるように有線LANを本館5階6階に導入工事を実施。これによりすべての会議室で有線LANが利用可能となった。  ・動画サポートパック【実施】  指定管理者が実施した「外部評価委員会」より、動画配信を丸投げできるサービスを導入してほしいという意見を踏まえ、撮影業者と連携してパックプランを作成した。  ②ホームページのアクセス数   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | R5  (参考) | R6  （12月末） | R6  （見込） | | 目標 | － | 800,000 | | | 実績 | 793,742 | 582,478 | 776,637 |   ③Facebook登録者数   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | R6.7.8時点  (参考) | R6  （12月末） | R6  (見込) | | 目標 | － | 900 | | | 実績 | 850 | 865 | 871 |   ④公の施設利用率   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | |  |  | R5  (参考) | R6  （12月末） | R6  (見込) | | 目標 | 会議室 | 47% | 50% | | | 大ホール | 46% | 40% | | | 実績 | 会議室 | 48.8% | 49.4% | 49.5% | | 大ホール | 36.6%(※) | 41.6% | 42.7% |   (※)R5.11月～R6.1月の大ホール閉鎖期間除く  ホームページのアクセス数については目標を下回る見込みのため、リスティング広告の出稿を現在準備中。また、FacebookについてはYouTubeや他のSNS等も利用しながらSNS全体として登録者を増やす形とし準備中。 | Ｂ | 数値目標は未達成である。一方、利用者の増加・ターゲット層の拡大を図るため、媒体の種類を増やすといった工夫はみられる。こうした取組みの効果（利用率への寄与など）と未達成であることを検証し、今後の取組みに反映されたい。 | Ｂ | SNSのページから直接申込をできるようにすることで、利用者が手軽に申込できる。特に、若年層の利用を増やすならSNSの活用は有効的と考える。  　数値目標の未達は結果であって、重要なのは結果に至るまでのプロセスである。今回、目標設定したFacebook登録者数の場合、登録することによるメリットなど、登録に至った要因を分析できれば、今後の利用者増加につなげることができると考える。 |
| (4)サービスの向上を図るための具体的手法・効果 | 利用者サービスの向上を図るための取組みが適切に実施されているか  ①利用料金支払い方法のキャッシュレス決済の導入      ②その他提案されたサービス向上策の取組状況  　・利用受付の拡充（再掲）      　・会議室、プチ・エル、大ホール利用の際の準備後片付けの時間提供        ・Google マップの活用による利用者サービスの実施          ・勤労者の知識向上やスキルアップ等を図るための事業    ・府民の教養の向上を図る事業    ・外部評価委員会の設置（再掲）  　・「エル・プロジェクト」内の委員会等の設置    ・月極めコインロッカーの設置  　・複合機の設置  　・館内巡回および定期点検の実施  　・利用者ニーズの把握    ・机・椅子等の備品の計画的な更新 | ①利用料金支払い方法のキャッシュレス決済の導入  2月より導入予定。  ②その他提案されたサービス向上策の取組状況  　・利用受付の拡充（再掲）【実施】  　　　６月より、Webフォームによる予約受付を可能にした。  　・会議室、プチ・エル、大ホール利用の際の準備後片付けの時間提供【実施】  前後の予約状況に応じて、部屋の準備及び荷物の移動時間に幅を利かせ、利便性を高めている。  　・Google マップの活用による利用者サービスの実施【実施】  各部屋の写真をGoogleマップに掲載することで、HP上で部屋の写真を360度見渡すことができるため、利用したい部屋のミスマッチを防ぐ。  　・勤労者の知識向上やスキルアップ等を図るための事業  【実施】  労働に関する講座を分野ごとに開催  　　○大阪労働大学講座  ○労働法特別講座  　・府民の教養の向上を図る事業【実施】  　　　芸術や文化に関するイベントを実施  　　 　○なにわ美術展  　　 　○アフタヌーンコンサート  　　 　○歴史セミナー  　・外部評価委員会の設置（再掲）【実施】  　・「エル・プロジェクト」内の委員会等の設置【実施】  　以下は、以前からの継続的な取組みであり、今後も継続予定  ・月極めコインロッカーの設置【実施】  　・複合機の設置【実施】  　・館内巡回および定期点検の実施【実施】  　・利用者ニーズの把握【実施】  　　　アンケート調査を実施  　・机・椅子等の備品の計画的な更新【実施】  　　　大ホール（エル・シアター）の椅子について、連結部分のゆるみや破損等について業者での点検を実施、補修を行った。 | Ａ | 支払手段の多様化に加え、支払いまでの手続きのための来館を不要にするといった利便性の向上に努めている。また、自主事業において、指定管理者の強みを生かしたコンテンツを提供し、利用者のサービス向上を図れている。今後は、支払手段の利用状況をモニタリングし、ニーズや費用対効果を検証されたい。 | Ａ | ― |
| (5)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度 | 施設管理、安全管理は適切に行われているか。  維持管理は効率的に行われているか  ①効果的・効率的な修繕計画の実施  ・修繕計画の立案・作成・時点修正        ②安全で安心して快適に利用できる施設の維持  　・大阪ビル群管理センターによる 24 時間 365 日バックアッ  　　プ  　・災害時・緊急時に備えた取組み        ③定期点検の実施状況  　・ビル管法、建築基準法等の法定点検の実施  ④業務における適正手続きの遵守（再委託、運営委員会等）  　・共同事業体構成での運営委員会の開催  　・個人情報適正管理委員会の開催  　・事業進捗・検証委員会の開催  　・再委託は大阪府の承認を得て実施 | ①効果的・効率的な修繕計画の実施  ・修繕計画の立案・作成・時点修正【実施】  　　　○9階トイレの洋式化工事実施  ○5階6階の有線LAN工事実施    ②安全で安心して快適に利用できる施設の維持  　・大阪ビル群管理センターによる 24 時間 365 日バックアップ【実施】  　・災害時・緊急時に備えた取組み【実施】  　　　災害時に利用者に帰宅困難者が出た場合、最大170人3日分の食料と水を備蓄している。    ③定期点検の実施状況  　・ビル管法、建築基準法等の法定点検の実施【実施】  ④業務における適正手続きの遵守（再委託、運営委員会等）  　・共同事業体構成での運営委員会の開催【実施】  　・個人情報適正管理委員会の開催【実施予定】  　・事業進捗・検証委員会の開催【実施】  　・再委託は大阪府の承認を得て実施【実施】  施設管理はこれまで通り実施しているが、配管のつまりや水漏れなど、緊急修繕が必要な箇所も増えているため、施設全体にかかる部分については大阪府とも情報共有を行っている。 | Ａ | 修繕計画に加え、緊急の補修工事を実施するとともに、法定点検も含めた予防保全に努め、適切に施設管理、安全管理が行われている。 | Ａ | ― |
| (6)府施策との整合 | 府が実施する事業等への協力の取組みが適切に実施されているか  ①障がい者雇用率達成状況  　・目標　2.5％  ②知的障がい者就労に対する取組み  　・清掃業務での就労  ③府民、NPOとの協働  ・天神祭ごみゼロ運動への協力  　・一時保育の実施    ・エコキャップ運動への参画    ・ホームレスの自立支援としてのシェアバイク設置  ④環境問題への取組み  ・エネルギー使用量の削減  ・「関西エコオフィス宣言」事業者としての取組み実施  　・照明の LED 化          ・雨天時のしずく落とし装置の設置（傘袋の非設置）  　・ごみ減量化の継続実施 | ①障がい者雇用率達成状況  　・目標　2.5％【達成】  　　（一財）大阪労働協会：3.39％  　　大林ファシリティーズ（株）：2.79％  　　（株）コングレ：2.54％  ②知的障がい者就労に対する取組み  　・清掃業務での就労【継続実施】  　　　２名就労  ③府民、NPOとの協働  ・天神祭ごみゼロ運動への協力【実施】  　・一時保育の実施【実施】  　　　受入れ体制は構築できているが、利用者からの要望がなかったため、実績なし  　・エコキャップ運動への参画【実施】  　　　NPO法人と連携して実施  　・ホームレスの自立支援としてのシェアバイク設置【実施】  　　　NPO法人と連携して実施  ④環境問題への取組み  ・エネルギー使用量の削減【未実施】  　　　省エネ実施のため適切な温度管理に取り組んだ。しかしながら長引く猛暑の中、冷房の時間、日数とも例年よりも増えたため、削減が困難な状況となった。利用者の中には高齢者の方もいるため、利用者の安全を優先した。  ・「関西エコオフィス宣言」事業者としての取組み実施【実施】  ・照明の LED 化【実施】  　　　R5年度に階段部分を実施。今般、蛍光灯の生産終了の動きもあるため、会議室内の蛍光灯についても、大阪府と検討していきたい。  ・雨天時のしずく落とし装置の設置（傘袋の非設置）【実施】  ・ごみ減量化の継続実施【実施】 | Ｂ | 府施策をはじめて公共・公益的な取組に関係団体と取組んでいる。「エネルギー使用量の削減」は未達成であることから、今後は、これに関する具体的な取組内容を立案し、実行いただきたい。 | Ｂ | 環境問題に対する取組みについて、省エネ実施のため適切な温度管理に努めているが、施設の設置年数も踏まえ、長期的な観点から建物のZEB化を考える必要があると思われるため、検討されたい。 |
| Ⅱさらなるサービスの向上に関する事項 | (1)利用者満足度調査等 | アンケート等による利用者の意見の把握、調査結果のフィードバ  ックが適切になされているか  ①利用者の満足度を分析するために十分なサンプル数の確保  （400サンプル以上もしくは調査期間2ヶ月以上）    ②アンケート結果の次年度以降の運営へ反映  ③再利用の意向の割合  ＜初回利用の方＞   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  |  | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | | 目標 | 会議室 | 80％ |  |  |  |  | | 大ホール | 80％ |  |  |  |  | | 実績 | 会議室 |  |  |  |  |  | | 大ホール |  |  |  |  |  |   ＜２回目以上の利用の方＞   |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  |  | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | | 目標 | 会議室 | 95％ |  |  |  |  | | 大ホール | 95％ |  |  |  |  | | 実績 | 会議室 |  |  |  |  |  | | 大ホール |  |  |  |  |  |   ④利用者満足度調査以外の日常寄せられる要望・苦情等意見の集約及びその対応状況 | ①利用者の満足度を分析するために十分なサンプル数の確保  　（実績414サンプル　2カ月と9日間実施）    ②アンケート結果の次年度以降の運営へ反映  アンケートにある「9階トイレの洋式化」については今年度実施。その他の和式トイレについても順次洋式化工事を行っていく。  ③再利用の意向の割合  ＜初回利用の方＞   |  |  |  | | --- | --- | --- | |  |  | R6 | | 目標 | 会議室 | 80％ | | 大ホール | 80％ | | 実績 | 会議室 | 80.9％ | | 大ホール | 100％ |   ＜２回目以上の利用の方＞   |  |  |  | | --- | --- | --- | |  |  | R6 | | 目標 | 会議室 | 95％ | | 大ホール | 95％ | | 実績 | 会議室 | 100％ | | 大ホール | 100％ |   ④利用者満足度調査以外の日常寄せられる要望・苦情等意見の集約及びその対応状況  貸し会議室の各フロアに意見箱を設置し要望・苦情等意見の収集を行う。今後Web上でも意見を収集できるよう、Webフォーム化も進める。 | Ａ | 今年度から設定した再利用の意向について、「初めて利用」と「年２回以上」ともに目標を達成している。アンケートの実施においては、窓口での配布・回収する方法としては、回収率が２割以下と低く、埋もれた意見を聴取できていない可能性もあるため、今後、改善を検討されたい。  また、アンケート結果を見ると、満足度は高いことが読み取れるが、利用率が低下しているという矛盾が起きており、原因の追究を図られたい。  その他、アンケートで回答いただいた要望に対し、改善した取組みを館内に周知するような工夫も検討されたい。 | Ａ | 会議室の利用率の向上について、午前中の利用率が低いことから、利用料金を下げたり、利用時間を柔軟に設定できるようにするなどして、新規利用者の増加を図られたい。  　アンケートを取る際は、エル・おおさかを利用する要因（利便性や実施イベント等に対する貢献度等）を明らかにすることで、エル・おおさかの強みが明らかになると思うので、調査を検討されたい。  　エル・シアターの利用目的について、音楽や演劇、舞踏といった芸術分野の目的での利用が少なく、PR力が弱いように感じるため、芸術分野の利用者層の獲得に向けた取組みも検討されたい。 |
| (2)その他創意工夫 | その他指定管理者によるサービス向上につながる取組み、創意工夫がなされているか（特に、サービス向上のための昨年度以前になかった新たな取組みがなされているか）  ①創意工夫の取組み  　・障がい者の方がいきいき働くことができるスペースの提供              ・インターネットでの抽選申込みへの移行（再掲）    ・「みんなのトイレ」（ＬＧＢＴに配慮したトイレ）の設置（再  掲）  　・YouTube の活用（再掲）  　・大ホールの催し一覧カレンダーの作成（再掲）  ・利用料金支払い方法のキャッシュレス決済の導入（再掲）        ・本館５階、６階 LAN 回線設置工事（再掲）  　・ホームレスの自立支援としてのシェアバイク設置（再掲） | ①創意工夫の取組み  　・障がい者の方がいきいき働くことができるスペースの提供  【実施】  　　　企業と連携して、南館1階に障がい者の方と共につくるテイクアウト専門のカフェスタンド「Cafe &i」を８月にオープン。障がい者雇用の実例となる取り組みを実施。    ・インターネットでの抽選申込みへの移行（再掲）【実施】  　 　　Webフォームによる抽選申込を6月より実施。  　・「みんなのトイレ」（ＬＧＢＴに配慮したトイレ）の設置（再掲）【実施】  　・YouTube の活用（再掲）【実施】  　・大ホールの催し一覧カレンダーの作成【未実施】  ・利用料金支払い方法のキャッシュレス決済の導入（再掲）  【実施】  2月より導入予定。  　・本館５階、６階 LAN 回線設置工事（再掲）【実施】  　・ホームレスの自立支援としてのシェアバイク設置（再掲）【実施】 | Ａ | 利用者の利便性の向上や賑わい創造に加え、社会的な課題解決の視点をも兼ね添えた取組みを展開している。今後もこうした観点からの新しい取組みを実施し、サービス向上に努められたい。 | Ａ | 「みんなのトイレ」といった誰でも使えるトイレが設置されているのは良いが、現状、設置されていることの周知やどのような設備が備わっているのかを掲示等で周知できていないと思われるので、利用者が安心して利用できるよう、対応いただきたい。 |
| Ⅲ適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目 | (1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度 | 事業収支計画の達成に向けた戦略的な取組みが適切に実施されているか   1. 収入の確保及び実績（適正な経費の執行を含む）  |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | |  |  | R5 (参考) | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | | 収入 | 目標 | 308,869 | 303,405 | 314,843 | 326,713 | 339,031 | 351,815 | | 実績 | 310,553 |  |  |  |  |  | | 支出 | 目標 | 333,516 | 282,865 | 288,066 | 293,373 | 298,786 | 304,397 | | 実績 | 276,445 |  |  |  |  |  | | 納付金 | | 26,530 | 32,260 | 33,456 | 33,456 | 33,456 | 33,456 | | 収益 | 目標 | ▲12,453 | ▲11,720 | ▲6,679 | ▲116 | 6,789 | 13,962 | | 実績 | 7,578 |  |  |  |  |  | | ①　収入の確保及び実績（10月末時点及びR6見込）   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | |  |  | R5 (参考) | R6/12  現在 | R6見込 | | 収入 | 目標 | 308,869 | 303,405 | | | 実績 | 310,553 | 221,240 | 295,990 | | 支出 | 目標 | 333,516 | 282,865 | | | 実績 | 276,445 | 199,017 | 265,445 | | 納付金 | | 26,530 | 32,260 | | | 収益 | 目標 | ▲51,177 | ▲11,720 | | | 実績 | 7,578 | ▲10,037 | ▲1,715 |   主に利用料金収入が目標に対して減収となっているが、効率化を図り予算を押さえながら計画的に支出を行っている。 | Ｂ | IT化による受付窓口時間・人員の縮減などの省人化により、支出削減の効果がみられたが、収入は目標を下回る見込みである。利用料金の収入増加が喫緊の課題であり、営業も含め利用者の増加を促す取組みを検討し、実行されたい。 | Ｂ | 評価軸をどこに定めるかという課題はあるが、今年度に至っては、当初の収益目標が大幅な赤字であったが、経費削減の努力により結果的に小さな赤字へ抑えたことは評価できる。  ５年間の指定期間（令和６年度～令和１０年度）の収支計画より、５年間を通じて黒字になる計画であったため、目標数値の達成や改善状況を評価のポイントとすればよいと思う。 |
| (2)安定的な運営が可能となる人的能力 | 安定的な運営が可能となる人的能力を有しているか  ①省人化を踏まえた適切な人員配置  　（現在の受付人数）平日２．５人／１日、土日祝１人／１日  　　指定期間内に平日２人、土日祝０人をめざす  ②配置従事者への管理監督体制・責任体制・適切な労働環境・安全衛生管理 | ①省人化を踏まえた適切な人員配置【継続実施】  　（現在の受付人数）平日２．５人／１日、土日祝１人／１日を実施し、業務の効率化を行っている  　土日については０人でも回る体制が出来つつある。  ②配置従事者への管理監督体制・責任体制・適切な労働環境・安全衛生管理【実施】 | Ａ | 省人化（Web申込の導入等）による業務の効率化を図り、削減の効果が出ている。 | Ａ | ― |
| (3)安定的な運営が  可能となる財政的  基盤 | 施設管理運営者として、適切な財務状況が確保されているか  ①法人（指定管理者を構成する法人）の損失状況等経営状況が健全であるか | ①法人（指定管理者を構成する法人）の損失状況等経営状況が健全であるか【未達成】  ア）大阪労働協会  令和４年度は8,569千円の赤字、R5年度は黒字決算  令和６年度の収支計算書は１月末に提出予定。現時点で  は黒字見込み  イ）大林ファシリティーズ  　　直近3年間は黒字決算  令和６年度の決算について、現時点では黒字見込み  ウ）コングレ  　　直近3年間は黒字決算  令和６年度の決算について、現時点では黒字見込み | Ｂ | 直近３年間の決算状況のうち、R4年度に（一財）大阪労働協会が赤字決算である。これ以外の指定管理者を構成する企業・団体の決算状況は概ね安定している。 | Ｂ | PLに加え、BSを見ることも財政的基盤を判断するにあたって大事である。事業体の体力によって、赤字であっても致命的でないばあもあるので、長期的な安定性や効率などを見て判断するのも良いと思う。 |

■評価の基準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目ごとの評価 | 年度評価 | 総合評価および最終評価 |
| Ｓ：計画を上回る優良な実施状況  Ａ：計画どおりの良好な実施状況  Ｂ：計画どおりではないが、ほぼ良好な実施状況  Ｃ：改善を要する実施状況 | Ｓ：項目ごとの評価のうちＳが５割以上で、Ｂ・Ｃがない。  Ａ：項目ごとの評価のうちＢが２割未満で、Ｃがない。  Ｂ：Ｓ・Ａ・Ｃ以外  Ｃ：項目ごとの評価のうちＣが２割以上。又はＣが２割未満であっても、文書による是正指示を複数回行う等、特に認める場合 | Ⅰ：評価対象となる年度の年度評価のうちＳが５割以上で、Ｂ・Ｃがない。  Ⅱ：評価対象となる年度の年度評価のうちＢが３割未満で、Ｃがない。  Ⅲ：Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ以外  Ⅳ：評価対象となる年度の年度評価のうちＣが５割以上。ただし、評価対象期間の後半、取組状況に継続的な改善傾向が認められる場合を除く。 |

※総合評価がⅣとなった場合には、次回の指定管理者選定時に減点措置を講じることとする。

■年度評価

　令和６年度の項目ごとの評価は、全11評価項目中、Ｓが０、Ａが７、Ｂが４、Ｃが０　である。



年度評価：B